あなたと議会を結ぶ確かな情報と信頼

第102号
令和5年
2023．8．1

しもにた 議会だより

下仁田あじさい園内
百日紅（サルスベリ）

下仁田町公認キャラクター
「にゃくっち」

下仁田町議会
ホームページ
QRコード

発行：群馬県下仁田町議会

令和５年度　一般会計補正予算（第１号）　５月臨時会

歳入歳出　9,734万2千円増額し、総額49億534万2千円

主に国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」による増額

■歳入

（単位：万円）
※千円未満切り捨て

事　業　名　等	主な内容	補正額
子育て世帯生活支援特別給付金補助金	（国が全額）	240
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	（国が定額）	6，881
財政調整基金繰入金		2，611

■歳出

（単位：万円）
※千円未満切り捨て

事　業　名　等	主な内容	補正額
下仁田町農林業省エネ対策導入支援事業	農林業者への機器・設備導入費用支援	500
下仁田町農林業物価高騰対策支援事業	農林業者への経費の一部を支援	925
下仁田町中小企業応援キャッシュレスポイント還元事業	町民の経済負担軽減と町内中小事業者及びＤＸ化の促進	2，025
下仁田町観光タクシー助成事業	観光タクシー助成事業の拡充（無料化）	154
下仁田町泊まって賑わい創出キャンペーン事業	町内宿泊施設の宿泊者に商品券を交付	420
水道料金支援事業	町営水道４ヶ月分の基本料金及びメータ使用料を免除	2，419
低所得者世帯価格高騰緊急支援給付金	住民税均等割非課税世帯に対し１世帯あたり３０，０００円を給付	3，050

令和５年度　一般会計補正予算（第２号）　６月定例会

歳入歳出　1,792万9千円増額し、　総額49億2,327万1千円

■歳入

（単位：万円）
※千円未満切り捨て

事　業　名　等	主な内容	補正額
学校保健特別対策事業費補助金	（国が１／２）	90
公立学校情報機器整備費補助金	（国が全額）	50
財政調整基金操入金		1，323
一般コミュニティ助成事業助成金	（一財）自治総合センター	130
魅力あるコミュニティ助成事業助成金	（公財）群馬県市町村振興協会	199

■歳出

（単位：万円）
※千円未満切り捨て

事　業　名　等	主な内容	補正額
まちづくり推進費	コミュニティ助成事業旭町区、吉崎区	329
住民基本台帳管理	国の普及施策終了後の町独自のマイナンバーカード普及促進事業（商品券交付）	958
消防施設設備	消防詰所用地取得 造成費	310
学校管理運営（小学校）	感染体制整備	98
学校管理運営（中学校）	感染下体制整備	96

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和5年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）

問　まちづくり推進費、コミュニティ助成事業について詳しい説明を。

答　区長会等を通じて募集をし、申込みがあり、採択された2事業について、助成金を受け計上するものです。1つが、公益財団法人群馬県市町村振興協会のサマージャンボ宝くじを原資とする「魅力あるコミュニティ助成事業」で、自治振興に直接必要な設備について助成をするもので、旭町区の申請について採択され、助成するものです。山車修繕整備・備品整備で助成額は1，994千円です。2つが、一般財団法人自治総合センターのこちらも宝くじを原資とする「一般コミュニティ助成事業」でこちらは吉崎区に助成するものです。山車修繕とコミュニティ活動備品で交付額1，300千円です。

修繕された山車

問　住民基本台帳管理はマイナンバーカードの事なのか。

答　国の普及施策によるマイナポイント付与対象の申請期日が終了し、本年3月1日以降の申請者に対し、町独自の事業として、マイナンバーカードの普及を図るため、ひとり5，000円の商品券を交付したいという趣旨で、対象者1，917名分の予算計上させていただきました。

問　この対象者が申請すると何パーセントの達成率になるのか。

答　100％です。

問　マイナンバーカードにはどんな情報が搭載されているのか。

答　署名用電子証明書と利用者証明用電子証明書がICデータに記録されています。署名用電子証明書は住民基本台帳に記載されている4情報である、氏名・住所・生年月日・性別です。利用者証明用電子証明書は利用者本人を証明する仕組みです。

問　マイナンバーカードの有効期限は成人で10年であるが、車の運転免許証と同じようにある程度事前にお知らせの通知が出せるのか。

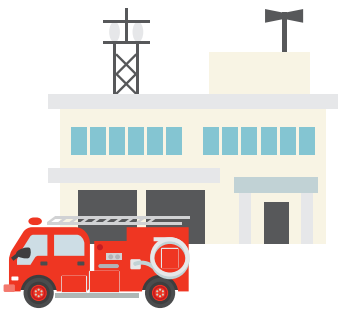
答　おおよそ有効期限の3か月前から通知が発送されます。

問　3か月前から申請できるのか。

答　申請できます。

問　消防施設設備について説明を。

答　土地購入費については、消防団第1分団第1部詰所に隣接する用地購入費です。購入理由としては、現状の消防詰所敷地では、車両延長5・5mのポンプ自動車を敷地内で切り回し車庫に収めることが不可能です。現在は、大型車両が頻繁に通行する国道254号を塞ぐように消防自動車を進ませ、消防団員誘導のもと車庫に誘導しているが、夜間等スピードを出して走る車が多く消防団員が危険を感じていました。今回、隣接する住宅が解体され現在は売地となっていることから、この用地を購入させていただき、消防団員の安全確保を図るために、詰所敷地内で車両を切り回し車庫に収められる用地の確保を図りたいです。また、消防団第1分団は1部（下仁田）と2部（川井）で構成されていますが、消防団員が減少しており、近い将来この二つを統合しなければならなくなります。その統合先は、第1分団第1部であることから、統合のための拠点用地確保が主な購入理由です。14節単独事業については、消防用地造成舗装費です。16節の土地購入費が可決されれば、用地をアスファルト舗装にする為の造成舗装費です。



消防団員の減少防止対策は

答問 勧誘を行っているが厳しい

小井土光弘　議員

議員　消防団員の勧誘の取り組み、処遇改善策は。

総務課長　引き続き消防団員の加入促進を図っていきたい。平成29年度より※1**機能別団員**制度を創設、令和5年5月現在18名が登録し活動中です。処遇改善は「年額報酬の増額」「出動手当」「準中型運転免許証取得費全額補助」「AT限定免許証の限定解除費用全額補助」創設令和5年度より「消防活動時に自家用車使用の損害保険への加入」車両保険は免責なしで300万円まで補償されます。

議員　団員の充足率は。

総務課長　定員160名で総員148名、充足率は92・5％です。機能別団員18名を含めない充足率は81・3％です。

議員　消防団維持に向けて更なる負担軽減として住民税の軽減は。

総務課長　全国的に行っている自治体はありません。団員報酬の年額5万円までは非課税となっているので特例が使えている状況です。

議員　団員が在籍している企業への支援体制は。

総務課長　消防庁による「※2**消防団協力事業所表示制度**」が実施されています。5名以上の従業員が消防団に加入している企業が対象です。

議員　町内企業で5名以上は基準が高い。基準の引き下げを総務省へ働きかけて頂きたい。また団員の負担の軽減策としてポンプ操法大会に参加しないという可能性は。団員に大きな負担が掛かっていると思われ、近年不参加の近隣自治体もみられるが。

消防活動の様子

総務課長　ポンプ操法大会は団員の技術向上・士気の高揚を図るとともに消防活動の充実の発展を目的に実施されてます。消防団本部にて協議をして決めています。

議員　家庭用火災報知器の設置率は。

総務課長　下仁田消防署で毎年春・秋の「火災予防週間」に100世帯程個別訪問をして設置状況の調査を行っています。設置率は約70％です。近年は新型コロナウイルスによりアンケート形式で行われていました。

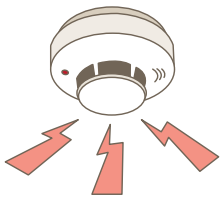
議員　広報紙等での周知は。

総務課長　年2回ほど告知しています。

議員　更なる普及活動は考えているか。

総務課長　広域消防本部としては積極的な設置促進を図り、町・各区長・民生委員等のご協力をいただき消防署とも連携を図りながら普及促進に努めていきたいと考えます。

議員　火災報知器も初期の設置から10年以上が経過し電池が切れている事も考えられるが。



総務課長　消防署と協力しながら改めて周知を行っていきたいと思います。

町長　広域消防と連携し、下仁田町として出来る対応は取っていきたい。

※1 **機能別団員**　消防団員として活動し、退団した元団員に火災発生時に協力していただき活動する団員制度

※2 **消防団協力事業所表示制度**　消防庁から認められた事業所は表示証を掲示でき、県によっては法人事業税を減免してる制度を設けている自治体もある。

問 高濃度核燃料廃棄物の受け入れの考えは

答 話がきても、聞くつもりはありません

議員　浄水場及び簡易水道の浄水施設は何か所ありますか。

建設水道課長　上水道として17施設です。

議員　放射性物質は検出されたことはありますか。

建設水道課長　食品衛生法で設定された基準下限値を超えたことはなく、検出されたことは一度もありません。

議員　放射性物質検査以外の水質検査は実施していますか。

建設水道課長　町では、水道水及び水道原水について、水質基準に定められている51項目の水質検査を実施しています。

議員　環境省が実施した除染土壌を保管する群馬県各市町村のアンケート調査について、町はどのように回答しましたか。

保健課長　町は、保管している除去土壌の取扱いについての設問に対して、国及び東京電力の責任において埋立て場所を町外県外に選定することとの回答をしました。

議員　原子力発電所での使用済みの高濃度の核燃料廃棄物の貯蔵所を探している原子力研究所と東京電力による説明会に私も高崎会場と前橋会場に参加しました。地下３００mに貯蔵場を設置したいとする計画を全国の３００箇所を対象に説明会をしているとのことでした。使用済みの高濃度核燃料廃棄物の受け入れの考えは。

町長　放射性廃棄物の問題で、町に、もしそのような話が来たら、まずもって私は聴くつもりもありませんし、ましてや受け入れる方向性は毛頭ございません。

議員　令和元年度の台風で仮置場に行く国有林の道路が現在も寸断されていますが、復旧工事がいつ頃の予定ですか。

保健課長　令和４年度の環境省の６月の定期訪問で、再度復旧の要望をしましたところ、林野庁の予算で令和５年度に調査を行い、６年度に復旧工事ができればと考えているようです。昨年９月には、群馬森林管理署が現地を視察に見えて、報告を受けています。

議員　災害時や事故等調査をするときには「ドローン」が必要だと思いますが、町に免許取得をした職員はいますか。

総務課長　現時点での免許取得者はおりませんが、今年度ドローンを導入するに当たり、職員3名のドローン操作講習の受講を見込んでいます。受講を受けて操縦免許取得していただく予定でおります。

議員　飲料水は、住民の生命を守ることが大切です。行政はあらゆる手段で検査をする。放射性廃棄物の仮置場を知らない住民も存在しています。私たちは、後世まで仮置場があったことと伝えておくべきだと思います。私たちの記憶がためされていますが「２０１１年３月11日」の東日本大震災を思い浮かべれば、汚染土壌の処理が大変ですね。現在も見渡せば、今もたくさんのトンパック（大型土のう袋）が破れているのが、今も映像で放映されています。処理を間違えないようにお願いしたいものです。

答問 林道の活用について
林業以外の産業の振興にも寄与する

岩崎正春　議員

議員　林道の路線数と総延長距離はどれくらいか。舗装の施工状態も併せて伺いたい。

農林課長　林道の路線数は38路線、総延長距離は66，340mです。舗装延長は33，225mで率にして約50％です。

議員　平成31年度から始まった※1森林環境譲与税の使い道は、今後どのように計画し、実施していくのか。例えば林業支援の進め方や、林道整備、林業の担い手育成、また、間伐伐採支援などの課題にどう取り組むのか。

農林課長　岩崎議員が、令和４年12月定例会で一般質問をされた定住化支援については、ぐんまの木で家づくり支援事業補助金の制度を拡充し、※2構造材のうちぐんまの優良木材60％以上使用した住宅に対して１㎡あたり５千円の上限１００万円、また町内事業者施工と町内地域材活用によりそれぞれ30万円を加算し、あわせて１６０万円の補助金を支援させていただきます。

議員　林業に限らない林道の利活用は。スポーツでのマラソン、自動車やバイクの山岳ラリー、自転車などの※3ヒルクライムは下仁田の林道は適地だという。今年４月22日に自動車ラリーが開催されたようだが、その経緯を伺いたい。

農林課長　今年４月22日に青倉地区内の林道七久保橋倉線で開催された、自動車のラリー選手権は、町民の方で、自動車ラリーに携わっている人が、主催者に声をかけて頂いたことがきっかけで開催されたものです。

議員　文化財指定、天然記念物指定への要件と手続きについてお聞きします。どのような知見を得て、指定あるいは登録されるのでしょうか。

教育課長　文化財の指定については、歴史的な価値のあるもの、天然記念物の指定については、希少価値のあるもの、などの要件を満たしているもので、所有者本人からの申請、または所有者の承諾のもとに、町教育委員会へ申請していただきます。これを受けて、町教育委員会は、町文化財調査委員会へ諮問します。町文化財調査委員会は、現地調査、資料の確認など調査研究し、調査結果を町教育委員会へ答申します。この調査結果をもとに最終的に町教育委員会で判断することになります。

議員　白髪岩原三角点の歴史的価値についてお聞きします。

教育課長　「白髪岩原三角点」の歴史的価値については、明治時代初期に近代測量が開始され、三角測量を行いました。全国で50か所の原三角点を設置したとのことです。日本の測量技術の歴史を伝える貴重な遺産として保護し、後世に伝えていきたいと思います。

議員　ジオパークの世界認定は。

教育課長　現状では全ての条件を満たしているとはいえませんが、まずできることから取り組んでおります。下仁田ジオパークでは、地域のよさを再認識、地域の活性化、地域のつながりの強化を目標としております。改めまして、地域住民に下仁田の自然、歴史、文化の価値を知ってもらいまして、町内外へ情報発信し、ジオパークの活動を理解していただくことを目指しております。

※1 森林環境譲与税　自治体に譲与され、森林整備及びその促進に関する費用に充てる。

※2 構造材　柱・梁・土台など建物の構造を担う材料の総称

※3 ヒルクライム　自転車で山や峠などの坂道を走ること

問 2023年の人口と職員数は

答 人口6536人と職員118人

佐藤 公夫　議員

議員　2016年の管理計画作成時の人口と、職員数は

総務課長　人口8，063人と117人の職員でした。

議員　2023年の人口と、職員数は。

総務課長　人口6，536人と118人です。

議員　年間200人からの人口減少しているのに、管理計画以上の人数で行政を執行してる、こんな馬鹿げた行政は、他にないですよ。

議員　災害時停電ゼロ対策、民間に太陽光発電設備の推進とある、民間に進めるのにあたり、現在公共施設での太陽光設備は、学校にほんの僅か。公共施設の支払電気料金は、年間1，000万円、以上あり、財政調整基金の活用で、それぞれの施設に太陽光を設備すれば、80キロワット位の発電が可能で、支払電気料金はゼロに近くなるはず。

町長　一昨年あたりから意見を頂き、いろいろな問題がありますので、検討しております。

議員　いろいろ検討していれば、2～3年すぐ経過する、こんなに良い提案事案を早く予算化すべき。

議員　※1下仁田町の国土強靭化地域計画の中に、森林整備の担い手不足と、担い手不足のために荒廃森林の増加が課題であるという一行があります。この担い手不足をどのような方法で解決していく予定があるか。

農林課長　令和5年度に新たに林業従事者の担い手の確保を図るため、総合的な対策としまして林業担い手育成支援事業補助金を創設し、担い手の育成、就労環境の改善、就業支援、推進活動、情報技術の導入など下仁田町森林組合のほうに支援を行って、担い手確保につなげていきたいと思っています。

議員　※2下仁田町持続的発展計画の中に空き家対策があります。空家対策特別措置法の一部改正が参議院で可決成立していますが、今回の改正で一番変わったのは※3管理不全空き家、今までは単なる空き家と※4特定空家だが、管理不完全空き家が新たに加わって、これを市町村長が認定すると、宅地課税の優遇税制が廃止になります。

　空き家取り壊しの補助金は一律であるが、一般住宅と違い、農家住宅は、養蚕や蒟蒻生産農家で、延べ床面積に格段の差があります。金額を含めて改正し提案してください。

保健課長　下仁田町では老朽空き家の除却補助金を実施していまして、倒壊などのおそれのある空き家を除却する意思のある方に対しての補助金を実施しています。除却に町内の業者を使った場合に20万円、費用の2分の1の補助、町外の業者の場合は10万円の補助を実施していますが、ご提案のとおり一般住宅と農家住宅の規模に応じた検討をして、実施できるようにしていきたいと思います。

議員　耕作放棄地対策は、持続化計画で対策を取りたいという記載があるが、行政の予算措置が全く取られてない現状ではなすべもないが、交流人口を増やすためにも、担当課任せでなく全庁で取り組むように提案します。

※1　下仁田町の国土強靭化地域計画
　国土強靭化基本法に基づき「災害から町民の命と暮らしを守るため総合的かつ計画的に地域づくりを進める計画」

※2　下仁田町持続的発展計画
　過疎地域の課題解決への動きを加速させ、地域活力の更なる向上を実現させるため作成した計画

※3　管理不全空き家
　適正な管理がされていない空き家

※4　特定空家
　周囲に悪影響を及ぼす危険性のある空き家

審 議 結 果

第１回臨時会（５月１９日開催）

○は賛成、×は反対、ーは欠席を表しています。
（佐藤博議長を除く 10 人で採決を行います。）

議案番号	議案名等 ＼ 議員名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	千野榮治	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
21	専決処分の承認を求めることについて（下仁田町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
22	専決処分の承認を求めることについて（下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
23	専決処分の承認を求めることについて（令和４年度下仁田町一般会計補正予算（第６号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
24	専決処分の承認を求めることについて（令和４年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第３号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
25	専決処分の承認を求めることについて（令和４年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第３号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
26	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	令和５年度下仁田町一般会計補正予算（第１号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	令和５年度下仁田町水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

６月定例会（６月８日～１５日開催）

29	下仁田町農業委員会委員の少なくとも４分の１を認定農業者とすることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
30	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
31	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
32	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
33	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
34	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
35	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
36	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
37	下仁田町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
38	下仁田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	下仁田町企業誘致促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	令和５年度下仁田町一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	義務教育費国庫負担制度を拡充し教職員定数の改善を求める意見書	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	有害鳥獣対策特別委員会設置に関する決議	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	義務教育費国庫負担制度を拡充し教職員定数の改善を求める意見書採択の陳情について	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

第２回臨時会（７月２０日）

43	令和５年度多目的集会施設建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

5月 第1回 臨時会の概要

▼19日　議案の上程採決
・専決の承認を求めることについて（下仁田町税条例の一部を改正する条例）他全5議案を承認
・令和5年度一般会計補正予算（第1号）他全3議案を可決

6月 定例会の概要

▼8日　開会日
・会期と日程を15日までとする決定
・一般質問4名

▼9日　議案の上程・採決
・令和4年度下仁田町繰越明許費計算書の報告他全2件の報告及び農業委員会委員の任命他全9議案の上程同意
・下仁田町税条例の一部を改正する条例他全2議案の上程可決
・令和5年度一般会計補正予算（第2号）を予算決算特別委員会に付託
・陳情1件を総務常任委員会に付託

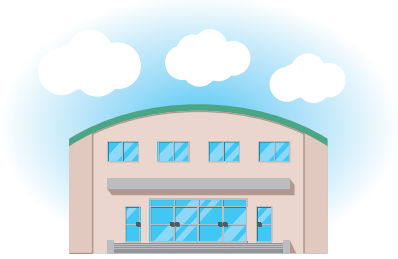
▼12日　予算決算特別委員会
付託された案件の審査

総務常任委員会
付託された陳情の審査

▼15日　最終日・採決
・令和5年度一般会計補正予算（第2号）を可決
・陳情1件を採択
・追加議案「有害鳥獣対策特別委員会設置に関する決議」の上程可決

7月 第2回臨時会の概要

▼19日　議案の上程採決
・令和5年度多目的集会施設建設工事請負契約について1議案を可決



◆富岡甘楽広域圏議会

令和5年第1回臨時会
（6月28日開催）

・令和4年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告
・（仮称）汚泥再生処理センター建設工事請負契約の一部変更について
・財産の取得について（災害対応特殊緊急自動車）
・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合監査委員の選任について

以上3議案は
全会一致で可決

◆下仁田南牧医療事務組合議会

令和5年第2回臨時会
（7月19日開催）

・令和4年度病院事業会計資金不足比率について
・令和5年度病院事業会計補正予算第1号
・令和4年度病院事業会計決算認定について

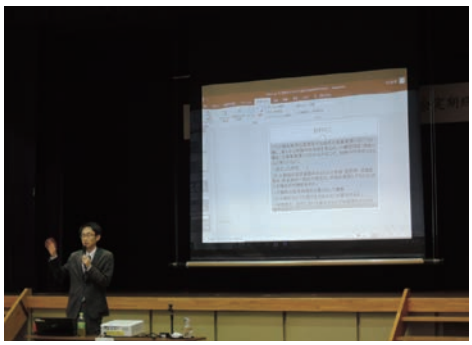
以上3議案は
全会一致で可決

議員参加行事

富岡甘楽地方議会議員連絡協議会定期総会・研修会（下仁田町文化ホール）

令和5年5月22日（月）
（全議員出席）

定期総会が終了した後、群馬県立歴史博物館学芸員の森田真一先生による講演『戦国時代の上野国甘楽郡領主』が行われました。内容は現存する古文書を参考に中世戦国時代の状況を分かりやすく解説していただきました。



神津牧場花まつり（神津牧場）

令和5年5月20日（日）
（全議員出席）

原水爆禁止国民平和大行進（下仁田町役場）

令和5年6月18日（日）
（議長出席）

下仁田町議会
YouTube公式チャンネル

下仁田町議会中継録画
動画配信を開始！

https://www.youtube.com/@user-vl5mj4bq1j

編集室から

最近つくづく変化について思う事がある。

世の中変化のスピードは年々早くなっている。近年の気象現象に於いても然り。「１００年に１度の・・」などと云われていた言葉も信じ難いのが日常だ。「10年ひと昔」なんて言っていた事が嘘のようだ。

また、近年ＡＩ化の進化も信じ難い。電話、家電、自動車においても然り。世の中ＡＩ化が進めばより便利になり労働生産性も向上、単純作業は自動化が進み人々は直接の労働作業から解放されるかも知れない。そして医療や教育現場では新たな可能性も見出されるだろう。がしかし、一方ではＡＩによる仕事の喪失やプライバシー侵害、ＡＩの学習データに偏りが出れば意思決定もままならなくなる。そんな世の中の変化に対し、人々は自然の脅威と同様止められないだろう。

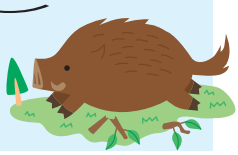
そんな未来に対しただひとつ言える事は、人々はその変化を受け入れ、人間が持つ想像力と創造力で対応して行く事ではないだろうか？

佐々木信也

下仁田町議会有害鳥獣対策特別委員会設置

（有害鳥獣についての駆除対策・捕獲・処理・活用等の調査研究のため）

委員長　岡田　邦敏
副委員長　大手　博幸
委員　堀口　博志
同　佐々木信也
同　小井土光弘



広報発行特別委員会

委員長　大手　博幸
副委員長　小井土光弘
委員　佐々木信也
岡田　邦敏
木暮　弘元
堀口　博志
岡田　武二

次の定例会は９月です

議会本会議及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。
日程などのお問い合わせは
☎0274-64-8810

議会だより、会議録の他、町の情報は下記のホームページをご覧下さい。

http://www.town.shimonita.lg.jp/

群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田六八二番地
発行／下仁田町議会議長　佐藤　博
編集／広報発行特別委員会
印刷／荒瀬印刷株式会社
☎0274-64-8810